

評価対象年度	平成 29 年度
編 成 区 分	9月補正
記 入 日	H29.7.28

事務事業評価【事前】シート

担 当 課	文 化 財 課
課 長 名	湯 川 直 基
担 当 者	湯 川 直 基

評価対象事業名	世界文化遺産登録記念事業
---------	--------------

基 本 姿 勢	3	にぎわいを創る「交流のしま」
分 野		
政 策	3	歴史、伝統文化を守り、活かし、伝えるまちづくり
基 本 施 策	3	文化的景観の整備・活用の推進

事業期間		単年度	単年度繰り返し		● 継続事業（29年度～30年度）		
事業費		金額（千円）	国	県	起債	その他	一般財源
	当 年 度	13,500					13,500
	総 額	13,500					13,500

事業目的 （誰を対象に、どの様なやり方で、どの様な効果を得ようとしているのか）	本町の「頭ヶ島の集落」が構成資産の1つとなっている「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の世界文化遺産登録が平成30年7月頃に予定され、本町人口減少対策、地域活性化の大きな起爆剤として期待されている。その中で来訪者へ世界遺産の価値を伝えることは、行政の大きな責務であり、頭ヶ島集落のジオラマを登録後に開館予定の世界遺産サテライトセンターにを設置して、来訪者への価値の浸透を図るとともに登録初年度に町内外に向けてインパクトの強い本町構成資産の情報発信（例：本町出身の鉄川與助氏）を行い、広い地域からの誘客に繋げ、来訪者の増加を図る。
事業概要	◆全体事業計画又は業務フロー 平成29年10月から（仮）世界遺産サテライトセンター（上五島空港）に設置するジオラマを作製、12月から現在の島の暮らし（島民の生活中心）の記念誌作製に着手する。平成30年度4月から切手シート製作に着手、登録決定後に本町が誇れる鉄川與助氏の功績と世界遺産を関連づけた登録記念シンポジウムを開催する。 【平成29年度】 ・サテライトセンター「頭ヶ島集落」歴史・文化情報学習システム構築業務 6,000千円 【平成30年度】 ・登録記念誌（写真集）作製 1,000部 4,500千円 ・登録記念切手シート作製 1,000部（5枚）1,000千円 ・登録記念事業開催（シンポ） 2,000千円 ◆当年度事業計画 【平成29年度】 ・サテライトセンター「頭ヶ島集落」歴史・文化情報学習システム構築業務 6,000千円
事業の必要性 （現状における問題点、その要因、今後の課題）	世界遺産登録推進事業（推薦書の作成、広報・啓発活動、受入体制協議等）については、県を中心に12構成資産を有する関係市町が連携、協力しながら行われている。しかし登録後の（仮称）世界遺産サテライトセンターの運営、登録記念に関する事業は、構成資産を有する市町が対応することとなっている。世界遺産という大きな地域活性化のチャンスをも有効に活かすためにも、他の構成資産と違った本町独自の受入体制、情報発信が必要である。

成果（活動） 指標	指標（単位）	来訪者数（人）				
	年 度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	平成33年度以降
	目 標 値	40,000	60,000	60,000	60,000	
	成果指標及び 目標値の説明	世界遺産登録後における頭ヶ島入込数の目標を平成28年度実績値より70%アップさせる。 頭ヶ島入込数（実績） H28：35,249人				

2 次 評 価	事業の方向性		採択		所管案のとおり		事業のやり方改善		事業規模拡大	
					事業規模縮小		事業統廃合		その他	
			不採択		企画不十分					
		●	一部不採択	●	企画不十分	●	その他			
	評価理由	平成29年度事業については、サテライトセンターの充実となるため、世界遺産推進事業のなかで受入体制にむけ整備すること。ただし、事業実施にあたっては国の補助制度の活用など財政部局との協議を行い、経費の節減に努めること。 平成30年度事業については、登録時におけるパブリックビューイングの実施や記念式典など、様々な事業が想定されるため、新上五島町世界遺産登録推進協議会で十分な協議を諮ること。								

3 次 評 価	住民等の意見	
	町の対応	